



健幸を願って

気象庁は向う3か月の天気を、例年に比べて「暑い日が多い」と予報しました。1週間後には厚生労働省が発出した「熱中症予防普及啓発・注意喚起について」の依頼文書が新潟市福祉総務課を通じて入って来ました。

「熱中症」とは、高温多湿の環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもってしまう状態を指します。

特に体温調節機能が未熟な乳幼児に對しては、周囲の大人たちが注意深く見守っていかなければなりません。昨年、梅雨明けの日に日本自動車連盟（JAF）が、車内に小さな子どもを残したままで車を離れないように注意を呼びかけていたことを思い出しながら、改めて、熱中症予防のために、次のことを心掛けて下さるようお願いいたします。

1. 暑さを避ける
 - (1) 室内では、室温をこまめに確認し、エアコンや扇風機で温度を調節する
 - (2) 外出時には、帽子の着用、こまめな休憩・水分補給
 - (3) からだの蓄熱を避けるために、通気性のよい、吸湿性、速乾性のある衣服を着用する
2. こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給する。目安は30分〜1時間（毎日水筒のご用意、ありがとうございます。）

本格的な暑さを迎える前に、夏の遊びを楽しめる健康維持のために、全園児に内科健診と歯科健診を行ない、加えて、もも組さくら組は尿検査を実施します。お手数をおかけすることと思いますが、ご協力よろしく願います。

いよいよ衣替え、夏の入り日です。身軽になったこどもたちは、外あそびにもサーキットにも父の日プレゼント作りにも喜々として取り組んでいます。

今年の父の日、ユニセフ（国連児童基金）は、乳幼児期のこどもの発達の大切さを訴えるために、「パパ 一緒に」というキャンペーンを世界の80か国で同時に展開します。

母の日のように父に感謝する父の日に、こどもたちからはどんなプレゼントが届くのでしょうか。

こどもの日、母の日、父の日と続く家族の愛の日々を大切にしていただきたく願っています。

さて、5月10日に締切った「よりよいこども園にしたいためのアンケート」の集計が終了したので添付いたしました。ご協力、ありがとうございます。鋭い指摘も温かなお言葉も、職員一同、総てをしっかりと受け止めて、反省点の変革とぬくもりの維持向上に努めてまいります。

これから順に始まる参観日のお話会で、話題に乗せていただけるよう期待しています。よろしく願います。

なお回答数は73。評価の理由は原文のまま全て掲載させていただきましたことを申し添えます。